



【お知らせ】

27. 7. 17
統合幕僚監部

共同プレス発表

河野統合幕僚長は、デンプシー米統合参謀本部議長の招待により、2015年7月12日から7月18日の日程で米国を公式訪問した。河野統合幕僚長は、7月16日、ワシントンDCにおいて、デンプシー米統合参謀本部議長と会談し、アジア太平洋地域の安全保障環境、日米同盟の深化などについての意見交換を行った。

両者は、第二次世界大戦終結後から今日までの70年間、日米両国の関係が強化され、日米同盟が日本及び米国の安全保障並びにアジア太平洋地域の平和、安定及び経済的繁栄に貢献してきたことを再確認するとともに、将来においてもその重要性が拡大するとの認識を共有した。

両者は、2015年4月27日の「日米防衛協力のための指針」に示された様々な分野について意見を交換し、その実効性を確保するため、日米間の防衛協力を更に加速させ、日米同盟の抑止力及び対処力を強化していくことで一致した。

両者は、自衛隊と米軍の絆をさらに強固なものとし、パートナー国、地域の各国と足並みを揃え、地域における共通の課題に取り組んでいくことで一致した。

平成27年7月16日